

VIRUS

ウイルス

謎解きガイド

以下に記すのは「VIRUS ウイルス」の正答です。
 答えを知ってもいい場合のみ、読んでください。

我々が言ったように、フェルスマン教授は良い人物ではなく、いつもおかしいことばかり考えている人です。この解説はすべての謎の解明へと、あなたを導きます。もっとも、この解説が必要ということは、あなたはすでに生きておらず、このガイドを読んでいるのはあなたの知り合いの誰かでしょうが…。

PART1 【目的】金庫を開けるための「4つの数字の組み合わせ」を見つける

・手紙:
 手紙には表面(「私に話す あなたが」～)と、裏面(ことなく この手紙を～)に文章が書かれていますが、片面だけでは意味が通じません。表→裏の単語を一つずつ交互に読みます。

55分:手紙は表と裏を交互に読んでいく。(Hint Card 1)

フェルスマン教授の手紙からは、お気に入りの元素がS(硫黄)、U(ウラン)、Pr(プラセオジウム)、I(ヨウ素)、Se(セレン)であることがわかります。

50分:S U Pr I Se これを元素記号表で探しボトルに当てはめてみる。(Hint Card 2)

・元素周期表:
 元素周期表を使って、お気に入りの元素——S、U、Pr、I、Seの元素番号を調べます。S=16、U=92、Pr=59、I=53、Se=34。

・キャビネット:
 キャビネットのボトルの数字と元素番号を対応させると、文章が現れます。
 16=最初、92=金、59=2番 銀、53=3番、34=銅。

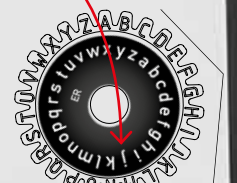
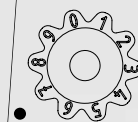
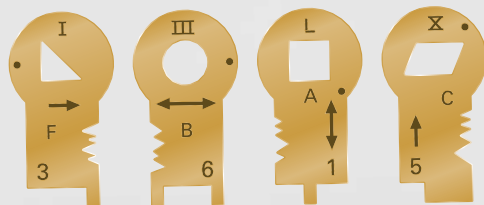
・元素周期表:
 元素周期表を使って、金、銀、銅の元素記号を調べます。金=Au、銀=Ag、銅=Cu。

・折りたたみパズル:
 折りたたみパズルをAu→Ag→Cuの順に、記号が合うように折ります。すると文章が現れます。“金庫を開けるコード36?5”

45分:記号が重なるように手紙を折れ ①AuとAu ②AgとAg ③CuとCu。(Hint Card 3)

・試験管:
 試験管には“ER”と書かれているので、クロノデコーダーの出番です。j=Mがヒント。クロノデコーダーのアルファベット暗号ディスク“M”にアルファベットホイール“j”を重ねます。これを使って、試験管の文字列を変換します。「kakureta suuji ichi」=「隠れた数字1」。よって金庫を開けるコードは“3615”。この数字のキーをクロノデコーダーに左から順に差し込みます。

Code 1: 3615





PART2 【目的】解毒剤を作るための正しいボトルを見つける

・手紙:

手紙には、文章の途中に数字が入っており、そのままでは読めません。しかし、1=あ、2=い、3=う、4=え、5=お、と置き換えて読むと、内容を理解できます。

・ER:

壁に設置されたライトボックスと、薬品棚の上に“ER”の文字があります。“u=A”とあるので、クロノデコーダーのアルファベット暗号ディスク“A”にアルファベットホイール“u”を重ねます(ホワイトボードに、jはMではないと書かれています)。これを使って、ライトボックスの文字列“QAXOVVA HU-JU TU YGTQGQKO TO GUC YKONUAQKO CU UQK”を変換します。「kurippu bo-do no sankakkei ni aoi seihoukei wo oke」=「クリップボードの三角形に青い正方形を置け」。クリップボードの文章の7行目の、単語“三角形”が中央に見えるように、穴が開いているカードの正方形(青枠のある側)を置きます。すると「第2番のボトルは緑色」という文章が現れます。



40分:PART2の解読コードはj=Mではない。(Hint Card 4)

・ミラーカード:

ミラーカードを使い、ホワイトボードに書かれた文章を反転させて読みます。“ノウアルトリハ ツネニ サイショニコタエヲ ミツケル”=「能ある鳥は 常に 最初に答えを見つける」。ゲームボードのドアには研究所のロゴがあり、赤い鳥が描かれています。つまり最初は赤=「第1番のボトルは赤色」。

30分:鳥を探せ。それが1つ目のボトルの色だ。(Hint Card 5)

・単語検索カード:

単語検索カードには表面に英単語が、裏面にアルファベットが並んでいます。裏面のアルファベットから表面の英単語を探して消します。残ったアルファベットは“yellow”=「黄色」。裏面にはピーカーのシルエットも描かれています。コードカードを見るとピーカーは3番目。つまり「第3番のボトルは黄色」。

・スケジュール表:

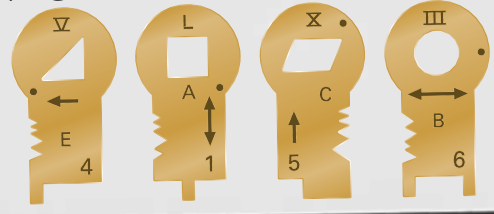
スケジュール表(カード)を見ると、時刻の表記がおかしいことがわかります。PM1:00~4:00が1、2、3、4と数字だけ書かれています。それぞれの欄を見ると“1=++、2=-+、3=+-、4=--”とあります。カードを裏返すと隅にこれらの記号があります。これを1~4の順に裏面の線に沿って重ねます。すると幅広の三角フラスコが浮かび上がり、中には“BLUE”=「青色」と書かれています。コードカードを見ると幅広の三角フラスコは4番目。つまり「第4番のボトルは青色」。

20分:スケジュール表の+-の順にカードを合わせると色がわかる。(Hint Card 6)

・色数字対応表:

色数字対応表(カード)を使って、導き出した色を順番に数字に置き換えます。赤色=4、緑色=1、黄色=5、青色=6。よってコードは“4156”。この数字のキーをクロノデコーダーに左から順に差し込みます。

Code 2: 4156



PART3 【目的】ボトルから正確な量の薬品を測り、解毒薬を作成する

・ボトルカード:

4色のボトルカードを見ると、それぞれに数字が黒い部分があります。この数字はコードの順番を表します。青色=1番目、赤色=2番目、黄色=3番目、緑色=4番目。

青色と赤色のボトルカードを並べると“私のお気に入り”という文章が現れます。青色のボトルカードを白い点線まで引き出すと“元素=”という文章が出てきます。そこで赤色のボトルカードを引き出し、“SUPriSe”が見えるようになります。青色の薬品量は「1」、赤色の薬品量は「3」です。

10分:正しい点線までカードを引き出す。(Hint Card 7)

黄色のボトルカードの裏面には右手が描かれています。左手はPART2のゲームボードにあります。2つの手に書かれたマジックの線を同じように自分の手に書きます。ゲームボードの顕微鏡の脇に青いビニール手袋がありますが、それと同じように自分の手を組みます。すると数字“4”が現れます。黄色の薬品量は「4」。



5分:黒い数字は鍵の順番。黄色は両手を組めばわかる。(Hint Card 8)

緑色のボトルカードを引き出すと、裏面に“ここまで”という文章が現れます。白い点線まで引き出し、表面を見ると数字は“1”。緑色の薬品量は「1」。

よってコードは“1341”。この数字のキーをクロノデコーダーに左から順に差し込みます。

Code 3: 1341

これで「VIRUS ウイルス」脱出成功です!

